

2-2-14 第 14 分科会 「シティズンシップ教育と秋大生の活動と評価」

担当者 望月一枝 受講学生 4 名

活動概要： シティズンシップ教育について理解をするため、日本ではどのような活動が行われているのかを調べた。私たちの身近にあるシティズンシップ教育と考えられている活動を挙げ訪問調査した。活動を通してシティズンシップを身につけているかに着目しインタビューとアンケートを行った。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- シティズンシップについて改めて学んだり、他の人の話を聞いたりして、自分のシティズンシップに対する考えも深まったと感じた。他の人と協力して良いものができればいいと、と思った。（11月4日の感想）

- 仙台の小学校で行われている教育の話聞いて、やはりどんな教育をするに当たっても教師のやる気と練りに練った教育計画が重要だと思った。他の人の発表を聞いて、自分たちの発表をどれだけ分かり易くできるかが難しいと感じた。（11月25日の発表より）

- 発表の流れや各スライドの担当も決まって、冬休みでなんとか完成できると思う。一番始めに調べたことが、ほとんど発表できないのは残念だが、上手くまとめられるよう自分の力を尽くしたい。

- いざ練習してみると課題はたくさんあり、本番が不安になった。まだ時間があるので、見直しをしっかりと行い、メリハリのある、分かり易い発表をしたい。また、私は最初と最後に話すので、責任重大であると感じた。（1月20日の感想より）